

あたらき大地



1986年 7月号

NO. 15

第 24 期 通常 総会 を 開催

当組合は5月27日、ホリディン南海大阪で46社の組合員が出席して第24期通常総会が開かれ、60年度事業報告、収支決算をはじめ61年度事業計画、収支予算案等が審議、承認された。

総会は、午後1時から開かれはじめに中川理事長が「昨年は木材利用普及研修センター等の施設が充実したが今年は団地内の環境整備の推進、今後の組合運営・団地のあり方将来方向等についての活路開拓事業に取り組んでいきたい。」との挨拶があった。



(第24期通常総会)

議案の内容は次のとおり

第1号議案 昭和61年度事業報告並びに決算報告について

(「昭和61年度通常総会資料」参照)

第2号議案 昭和61年度事業計画並びに予算案について

昭和61年度は、信頼・協調・繁栄・創造・公平を基本的なモットーとし組合の役割、機能をよりいっそう発揮しながら、従来の共同事業に加えて次の事業を重点的に行っていくたい。

1. 活路開拓調査事業によるビジョンの作成

組合運営並びに今後の団地のあり方、将来方向等について調査研究を行い、組合の長期ビジョンを策定する。



2. 団地内環境整備の推進

街路緑化樹の維持、管理をはじめ団地内の清掃、街灯の完備、駐車場の管理、路上放置物の整理などを実施する。

3. ウッドリーム大阪の企画事業の積極的運営

企画展示「内地材の世界」を行い、木のふれあいサークル「ウッドリーム友の会」の組織的活動を推進していく。

4. 木栄会の事業推進

組合員間の情報交流や会員の研修、勉強会等を昨年に引続いて積極的に進めていく。

5. 組合所有地（遊休土地）の有効利用の促進

① C グランド及びD グランドにおけるレストランとスーパーマーケットの具体的設置案を確立する。

② 木材乾燥工場の一部を組合員用駐車場へ転用する。

③ 組合所有地周辺地との境界を確定し造成整備の上有効に利用していく。

6. 喫茶施設の建設

組合員の福利厚生の一環として組合会館の隣接地に喫茶施設（ログハウス）を建設する。

7. 第2回ウッドフェアの開催

美原町創立30周年に協賛して団地内でウッドフェアを盛大に行う。

8. 団地内の道路整備

前年に引続いて工場用地内 310 m、住宅地内 140 mの道路改修舗装工事を行う。

（予算案については「昭和61年度通常総会資料」参照）

第3号議案 組合役員（理事）の増員について

組合事業の多様化と業務量の増加に対応して理事2名を増員、新理事として大阪ツキ板センター（協）山下光夫理事長と東部木材（株）高島正一社長が就任した。

第4号議案 定款の一部変更について

木材利用普及研修センター（ウッドリーム大阪）の運営事業を行うのに伴って定款第7条の事業にこれを追加する。

第5号議案 賦課金並びに汚水処理料の徴収方法の変更について

現行の賦課金並びに汚水処理料の2カ月毎徴収を、3カ月毎徴収（年4回）に変更する。（金額は、昭和60年度と同額）

第6号議案 海外研修旅行のための積立金について

昭和62年度に予定している海外研修旅行のために各組合員より旅行積立金（月額…10,000円）を行う。

第7号議案 環境整備基金制度の発足について

団地内の環境整備並びに美化のためにその費用分担金を各社から徴収し基金を設ける。

第8号議案 昭和61年度組合借入金額の最高限度について

最高借入限度額 30億円（転貸融資分の借入金も含む。）

第9号議案 昭和61年度1組合員に対する貸付最高限度について

1組合員に対する貸付最高限度 4億8千万円

第10号議案 金融事業の利用分量配当について

昭和60年度の金融事業収入について受取利息の1.3%を利用分量配当する。



議案審議の後、各委員会の活動報告および計画が発表され、最後に組合運営に貢献した五社に感謝状が贈られ、磯口副理事長が閉会を宣した。

引き続き懇親パーティーが行なわれ、勲五等双光旭日章を受章した山下光夫氏（（協）大阪ツキ板センター）、大阪府知事表彰の産業功労賞を受けた板東良彰氏（浅野木材（株）緑化功労者賞を受けた中川藤一氏（株）中川木材店）・成瀬良彦氏（成瀬特殊木材（株））・浅野寛氏（浅野木材（株））・和中武夫氏（株）丸正製材所）磯口清氏（共立木材（株））、全国木材組合連合会会長賞を受けた井戸淳次氏（株）ヤマゲン）らが紹介され懇親会に入った。



環境整備“すぐやる課”を設置！

昨年度より準備をすすめてきました環境整備事業は組合員の皆様方より基金分担金についてのご賛同も得られ、事業内容の策定等も整い今年度より本格的に事業を開始することになりました。

この事業は木材団地を新しい企業の街として、働きやすい環境づくりを目的にしており街がきれいになる事はもちろんこの事業を実施することにより有形、無形の効果が期待されます。

皆様方におかれましてもこの事業の趣旨、目的を十分ご理解いただき是非モラルの向上とご協力をいただきますようお願いいたします。

今回組合では、この事業を実施していく上で専門のセクションとして事務局内「環境整備すぐやる課」を新設いたしました。スタッフは課長として花井総務課長があたり、担当として管理人の山本職員並びに専任の職員が従事しております。課員としては、このようなスタッフになっておりますが、組合事業として、全職員が明るい応待、迅速な対応、きめの細かいサービスをモットーに対応しております。

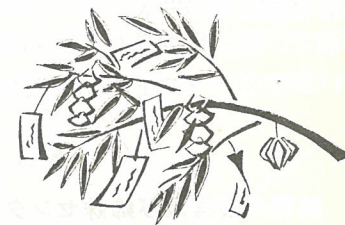
事業内容は先般ご案内した通り。

- ① 区域内の側溝、敷設管の清掃管理
- ② 区域内の緑化樹の管理清掃
- ③ 区域内の街灯の整備点検
- ④ 区域内の駐車場の管理
- ⑤ 区域内の不法放置物の撤去
- ⑥ 環境に関する事項の関係官庁との折衝
- ⑦ その他環境整備に関する事項

※ 区域とは木材団地工場地区に限る。

以上の事業を課題として進めてまいります。なお新しく課専用の着信電話も稼働いたしておりますのでお気軽にご利用下さい。

「環境整備すぐやる課」専用電話 (0723) 62-7848 番



【組合員企業の紹介シリーズ】『うちの会社』

〔その15〕

株式会社 鯉丸 社長 松本正剛



当社は昭和41年5月5日鯉丸建材社として大阪市西成区津守町東に於て北海道材製材品、パーティクルボード（木質削片板）の販売を主業として設立、主に家具木工を需要対象として営業を始めました。その後、昭和46年5月、株式会社鯉丸として法人に改組すると共に美原町に移転、パーティクルボード並びにMDF（中比重ボード）の切断加工販売に移行、今日に到っております。

皆様先刻ご承知の如くパーティクルボードもMDFもその歴史は浅く、木材業界に於ける地位は今だ道遠しの感があります。当社も同様今だ若輩、当団地組合に加入させて載きまして今だ日浅き身でございますが、先輩組合員各位のお引立を賜わりまして木材団地の発展と共にその業に努力致す所存でございます。何卒皆様方におかれましては宜敷くご指導ご鞭撻賜りますよう伏してお願い申し上げます。

なお、広島カープファンの方、若しおられましたら広島カープ後援会木材団地支部を作りたいと思います。ご一報下さい。因みに当社でも他は阪神ファンでカープファンは、私一人です。

“ ウッドリーム大阪 ” だより



★ 木材知識講習会開催

去る5月21日に標記講習会が開催された。

第1部は出展企業、住友林業㈱の「木材用割れ止め変退色防止剤（ウッドファンデーション）」の特長、用途、使用法、使用上の注意等を豊富な実験データをもとに講習され特にトラブルと対策について熱心な質疑が交わされた。

第2部はカラー&イメージコンサルタント、高木美智子氏による「生活と色」と題した講演で、色に関するいろいろなことをいろいろな観点から語られ直接“木”とかかわりはないが先生のソフトな話し振りときさわやかな雰囲気好評を得た。



★ 林野庁長官及び姉妹センター代表者ご夫妻が来館

去る5月11日開催の第37回全国植樹祭に出席のため来阪された林野庁長官田中恒寿氏が関係者と共に5月10日(土)午前11時に『ウッドリーム大阪』を訪問された。

当日は、組合役員7名が出迎え長官と懇談したあと、中川理事長の案内で館内を見学されたがウッドリーム大阪が林野庁補助対象事業として、建築された施設であるだけにその内容や事業活動には大いに関心をもたれ、満足された様子であった。

なお長官は、帰京されてから自ら木材関係の蔵書15冊余りを寄贈された。

又、前号でもご紹介したとおり、当ウッドリーム大阪と姉妹提携を結んでいるアメリカオレゴン州ポートランドにあるワールドフォレストリーセンターの代表者、ジョン・ブラックウエル氏と同夫人がそろって来日され、全国植樹祭にご出席の後、ウッドリームを訪問された。同日夜には、組合員も参加した歓迎レセプションが市内南区『いろは』で催され、ご夫妻以下14名の参加者で大阪での夜を、日本料理や日本民謡で楽しまれ両センターの友好の輪をいっそう広げる雰囲気であった。

なお、同氏より今回、両センターの友好を示す絵の寄贈があった。（さきの組合通常総会時に組合員全員にその復写絵を配布）

又、ウッドリーム南側緑化ゾーンにおいて、今回の林野庁長官とワールドフォレストリーセンター代表ご夫妻の来館を記念して、各々さわら1本、ユリノ木2本の記念植樹が行われた。

全国植樹祭に関連して翌5月12日には植樹祭に参加した全国の林業関係者約60名が同日午後3時よりウッドリームと㈱高島屋工作所を見学、バスによる団地内視察が約1時間半にわたって行われた。



★ ウッドリーム開所一周年記念講演会開催

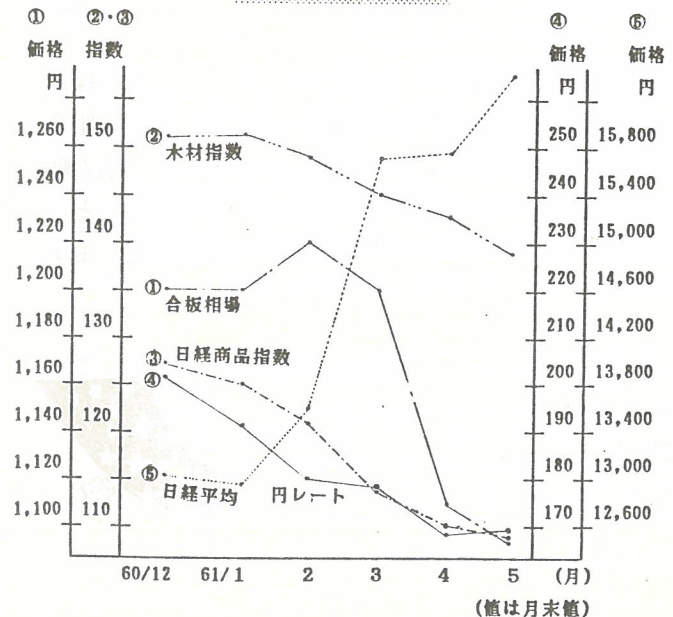
昨年6月8日に開所されたウッドリームの一周年記念として去る6月21日(土)午後12時30分より、評論家竹本幸之祐氏を講師に迎え聴講者92名の参加を得て盛大に開催された。

木材業も含めた大きな視野での商学「資本の論理と人間の論理」と題した内容でどの道にも通じる商業の原点を迫力のある調子で講演された。

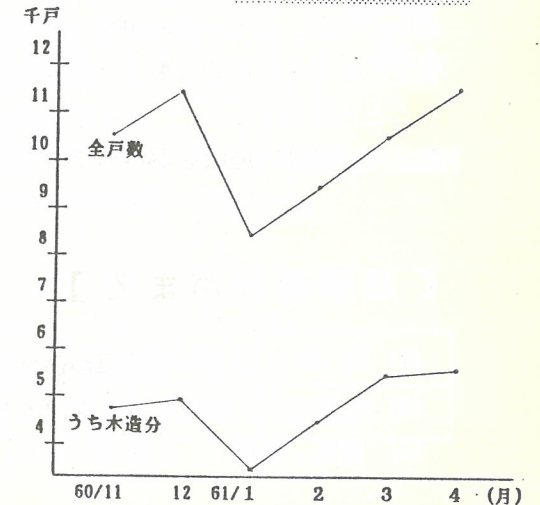
終了後、参加者から「非常にためになった」との声が多く、まず一周年記念としては成果のあった講演と言えましょう。

又今月は19日(土)午後2時より京都大学木材研究所の則元助教授を講師に迎え「生活と木材」と題して同先生の専門分野である湿度に対する木材の対応を解りやすく講演していただく予定です。皆様方ふるって聴講されることをおすすめいたします。

市況情報



住宅着工戸数



“木栄会”だより



★ 組合員工場の見学会を実施

去る5月28日(水)、第6回、団地内組合員工場 相互見学会が会員25名の参加のもとに行なわれた。

この見学会は同会情報交流委員会の企画で、今回は共同木材乾燥工場(組合)、トリスミ集成材(株)、共立木材(株)、丸正製材所、三信木材(株)並びに東部木材(株)の6か所を対象に約2時間半にわたって見学した。各社の生産工程や製品内容等について専門的な質問もとびかい、お互いに理解を深め、情報交流の一助となった。

★ 木栄会新役員の紹介

役職	氏名	所属	役職	氏名	所属
会長	高島 正一	東部木材(株)	研修委員会 委員長	浦本 雅史	浦本木材(株)
副会長	浦本 雅史	浦本木材(株)	“ 副委員長	田中 繁男	田中木材産業(株)
“	松葉 和雄	(株) 紅 中	“	福井 時男	福井木材商店
“	中畑 安伴	中畑木材(株)	情報交流委 員会委員長	松葉 和雄	(株) 紅 中
監事	橋本 禎夫	大弘産業(株)	“ 副委員長	田中 征郎	(株)中川木材店
“	山下 光夫	協大阪ツキ板センター	“	松尾 正敏	(株)高島屋工作所
“	吉村 諦一	大阪木材工場団地協	親睦委員会 委員長	中畑 安伴	中畑木材(株)
事務局	田中 義輝	“	“ 副委員長	磯口龍一郎	共立木材(株)
“	牧山 孝司	“	“	門崎 真澄	大平林業(株)



“郵便局だより”

当「美原木材団地簡易郵便局」も開局いらい早や10か月を経過いたしました。現況採算面からみて、もう一步利用推進を計りたく、このたび「郵便局を思い出す日」を定め組合員全社にその日を割り振り当郵便局担当係が各社を訪問、貯金の出し入れ等に、ご協力願うことになりました。また給油利用等の組合からの還元金も通常貯金による振込みとなります。各社で通帳をお持ちでない方は作成していただきますよう併せてお願い致します。

【日頃の心がまえ】

- (1) 「ノー」が多いと仕事が逃げていく。
- (2) 叱られなくなったらオシマイだ。
- (3) 態度、物腰で 人物がわかる。



“ちょっと一言”

大阪木材工場団地(協) 常務理事 事務局長 吉村 諦一



当組合では昭和59年3月、団地内の土地建物を組合員名義に変更したのを契機にこれに再売買予約に基く所有権移転請求権の仮登記を設定した。現在までのところ、おかげで団地内のまともは良好に保たれている。しかし、この仮登記の期限が到来する昭和63年度末以降は、これをどうするか、或いはどのような対応策があるのか。このことは組合員全社にとって重大な関心事であり、しかも組合運営の基本に係る問題であるだけに今から真剣に考えておく必要がある。

ところでこの問題を検討するに当ってはまず、(1) 組合員各社がきびしい環境の中で夫々対応を迫られている問題を打開するために、組合の果すべき役割、機能を一層高めていく必要がある、且つ組合の運営組織が活力をより発揮できる体制づくりを整えていかなければならないこと。(2) 新たな時代に即応し且つ組合員のニーズに適合したより有効な共同事業の運営を展開していくべきであること。(3) 団地の活路を積極的に切り開いていくためにも、組合所有の遊休土地を有効適切に利用していく方策を考えていかなければならないこと。(4) 以上の運営が円滑にしかも確実に実行できるよう、組合の財政基盤を安定強固にすべきであること。などがポイントと考えられ、これが団地の活性化をはかるための基本条件といえよう。

たまたま今年度は当組合で活路開拓調査事業を実施し、組合運営の長期ビジョンを策定するが、この際 組合員全員のコンセンサスを形成しながら、お互いに知恵を結集し、21世紀を目指して新たな時代に対応する立派なビジョンをつくりあげなければならぬと思う。

組合創立25周年を迎える来年度が、このビジョン実現の第一歩となって、飛躍すべき転機となることを期待したい。



【団地内のうごき】

◎ 団地内の道路工事について

去る6月2日より(株)鯉丸・ヤマキインテリ(株)の通り約310m 及び住宅地内善能池前約140mの舗装工事が着工されました。工事の完成は8月末頃の予定です。

◎ 組合員企業の代表者変更

組合員名	前代表者	新代表者	変更日
山田製材(有)	山田逸郎氏	山田喜三郎氏	61.5.1

“事務局だより”

★ 間伐材によるログハウス（喫茶店）のネーミング募集

当組合では、会館南側駐車場内に建設計画を進めておりますログハウス（丸太を主に使った建築）がいよいよ着工準備に入りました。これは組合員の皆様の厚生施設としても、ご利用いただき、又、木材の普及宣伝を兼ねるものになる予定です。

今回下記の要領で、このユニークな建物にふさわしい店名を皆様方より募集いたしますので、多数のご応募をお待ちいたします。

【 応 募 要 領 】

○ 名称課題

自 由（どんな名称でも可。但し建築物及び喫茶店にふさわしいもの）

○ 提出メ切日

昭和 61 年 7 月 15 日 午後 5 時まで

○ 提出用紙

B 5 判の用紙に会社名、氏名、年令を記入の上、名称を記入して提出して下さい。

1 人何作品でも結構です。但し読みにくい字には、ふりがなをお忘れなく。

○ 提出方法

ご持参あるいは、F A X 通信、郵送のいずれかの方法で、組合事務局まで提出して下さい。

○ 賞 品

採用作品には、金 20,000 円、優秀作品には、賞品を差し上げます。



【 編 集 メ モ 】

今号は「第24期通常総会」をメインに構成を組み立ててみましたが評価はいかがでしょうか？ ご一読後のご感想、ご批判などお寄せいただけたら幸いです。

組合事務所内に「環境整備すぐやる課」が新設され、団地内はより一層整備されることでしょう。

この“あたらしき大地”もまだまだ整備の余地があります。新しい企画、ご意見等をお待ちいたしております。

（編集部）



企業を守る損害保険のことなら
（株）大阪木材団地サービスへ

各種 火災・自動車・傷害保険を取り扱っております。

南河内郡美原町木材通四丁目1番1号

大阪木材工場団地協同組合内 tel 0723-61-2670~1